

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】令和7年3月19日(2025.3.19)

【国際公開番号】WO2022/264591
 【出願番号】特願2023-529575(P2023-529575)

【国際特許分類】

H 0 5 K 1 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

H 0 5 K 7 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 5 K 1 / 0 2 B

H 0 5 K 7 / 1 4 A

10

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月11日(2025.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フレキシブル性を有する素材に回路パターンを印刷した回路基板と、バッテリーと、制御部を有する制御ユニットと、第1のセンサ部と、を備えたセンサ装置であって、

第1の部材に前記回路基板と、前記バッテリーとを有し、

第2の部材に前記制御ユニットを有し、

前記回路基板は、前記バッテリーを接続する給電端子と、前記制御ユニットを接続する第1の接続端子と、を備え、

前記第1の部材と、前記第2の部材とは着脱可能に構成されており、

前記第1のセンサ部は、前記制御ユニットに備えられていることを特徴とするセンサ装置。

30

【請求項2】

前記回路基板は、一端側に給電端子が設けられ、他端側に第1の接続端子が設けられ、前記第1のセンサ部は前記給電端子と前記第1の接続端子の間に配置されることを特徴とする請求項1に記載のセンサ装置。

【請求項3】

第2のセンサ部を有するセンサユニットを更に備え、

前記回路基板に、前記センサユニットを接続する第2の接続端子を備えることを特徴とする請求項1又は2に記載のセンサ装置。

【請求項4】

40

前記回路基板には、前記給電端子と前記第1の接続端子を接続する配線が前記第1のセンサ部を避けるように配置されることを特徴とする請求項2に記載のセンサ装置。

【請求項5】

前記第1の部材は、カバー部材を含んでおり、

前記カバー部材と、前記回路基板とを接着することにより収容空間を形成し、

前記収容空間に前記制御ユニットが収容されることを特徴とする請求項1から4の何れか一項に記載のセンサ装置。

【請求項6】

前記第2の部材は、カバー部材を含んでおり、

前記カバー部材と、当該カバー部材の下側を蓋部材で覆うことにより、収容空間を形成

50

し、

前記收容空間に前記制御ユニットが收容されることを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか一項に記載のセンサ装置。

【請求項 7】

前記第 1 の接続端子は、フレキシブルプリント配線板により構成されていることを特徴とする請求項 1 から 6 の何れか一項に記載のセンサ装置。

【請求項 8】

前記第 2 の部材は、前記第 1 の接続端子と接続する第 3 の接続端子を更に有し、前記制御ユニットと、前記第 3 の接続端子は折り曲げ可能な回路基板で接続されていることを特徴とする請求項 1 に記載のセンサ装置。

10

20

30

40

50